

新会長に山田修氏

道設備設計事務所協会

北海道設備設計事務所協会は24日、ポールスタール札幌で2019年度定時社員総会を開き、任期満了に伴う役員改選で山田修副会長が新会長に就任し、種市由夫前会長は顧問に就任した。意見交換会や研修会実施などを盛り込んだ19年度の事業計画を決めた。

冒頭で種市前会長は「取り巻く環境の中で技術者不足や働き方改革が悩み。情報交換しながら乗り切りたい」とあいさつ。

議案審議に入り、関係官公庁との意見交換会や建築設備に関する研修・講習会の実施などを盛り込んだ19年度の事業計画と予算を承認した。また18年6月に更新したホームページによる広報活動強化も申し合わせた。

任期満了に伴う役員改選では5人の委員で構成する役員選考委員会の審議を経て理事と監事候補者を発表。理事と監事の互選で会長1人、副会長3人を選んだ。

山田新会長は「長年に

わたって協会を率いた種市会長の後だが、新役員・理事らと力を合わせて取り組みたい」と抱負を述べた。

新役員は次の各氏(カッコ内は所属企業)

▽会長 山田修(共伸設備設計事務所) 新任
▽副会長 木村清美(塚田抱負を述べる山田会長(右))



設備管理) 田中昌己(田中建築設備事務所) 新任、高橋融(白鳥設備設計事務所) 新任
▽理事 高橋忠明(エイト設計)、宮田泰輔(北日本技術コンサル)、長沢邦泰(環境設備計画)、堀井淳史(高木設計事務所) 新任、林浩三(ビーゴイング) 新任
▽監事 島海稔明(北海道総合設備研究所) 新任、三好健司(共同設備企画事務所) 新任
▽顧問 武井正(北洋設備設計事務所)、種市由夫(ビーゴイング) 新任